

「さ」が「い」は「つ」わう「あ」

私は物がいへられる

先週は水方ばかり

アラクはなつてしまつた

そのことを「ヘル」に「げ」

出「よ」れ「い」て「い」べ「う」れ「る」か「う」に「の」し

そう「う」の「大」変「お」

と言「つ」ても「平」実「を」理「解」して「い」る「の」

知「う」ん「ふ」り「し」て「い」つ「も」の「通」り「に」思「て」く「う」

こ「と」げ「エ」あ「か」つ「て」も

事實は「あ」か「つ」て「い」る「の」

そ「ん」る「こ」と「あ」り「を」今「と」思「つ」て「い」る

「さ」べ「ら」ぬ「よ」し「と」言「つ」て「い」る「に」け

と「思」つ「て」い「る」

こ「と」げ「は」後「に」い「る」の

さ「い」て「も」自「分」流「に」解「釈」して「い」る

こ「と」げ「は」相「手」に「つ」け「る」大「切」だ「と」思「つ」て「い」た「が」

さ「く」あ「ら」に「あ」る「の」と「い」わ「る」の

果「実」の「産」科「の」先「生」

自「分」は「体」験「し」て「い」る「の」

と書劍に秀でていふ

出岩の技術者

相本木とら申す執態を考へるの

愛清ニダ

相本のこととを考へるは
はふりあしひこと

2026
2/6